令和４年度の学校評価

（学校自己評価、学校関係者評価）

２０２２年４月～２０２３年３月

（令和４年４月～令和５年３月）

１．学校の教育目標

本校は教育基本法及び学校教育法に従い、商業実務、工業高等課程及び工業専門課程を設置し、その下で商業実務、情報処理、自動車整備、工業に関する職業、実生活に必要な能力の育成、教育の向上を図ることを目的とする。

２．本年度に定めた重点的に取り組むことが必要な目標や計画

①　本校独自の「キャリア教育」における更なる質の向上。

本校は「キャリア教育」に力をいれており、基本的な生活規則や倫理観はもちろんのこと、卒業後の意識や意思決定にも目を向けている。また、早期の進路決定に向け、早い段階から「キャリア教育」を進めていきたい。その一環として、平成２５年度より実施している２年生の「夏期職業体験」を、今年度は実施することができた。次年度以降は、外部の合同説明会への参加や進路説明会も含め、更なる質の向上を目指す。

②　多様な入学生への対応力

グロースコース設立以降、入学生の多様化によりそれに対応できる生徒指導が求められている。これまで、研修会の実施や個々にあわせた指導、情報グロースコースの設置や休憩スペースの設置など、様々なことを実施してきた。来年度は生徒支援部を新たに立ち上げ、支援を必要とする生徒への対応を計画的に進めていく。

３．学校評価（学校自己評価。学校関係者評価）

≪学校関係者評価委員≫

○　在校生保護者　　７名
○　卒業生　　５名
○　関係企業　　７名
○　中学校、地域住民等　　２名

※評価の基準　5：よくあてはまる　　4：あてはまる　　3：ややあてはまる
2：あまりあてはまらない　　1：まったくあてはまらない

（１） 教育理念

評　価　項　目	自己評価	関係者評価
本校の理念や目標は、現代社会のニーズに即したものとなっているか	4	4
適切な組織体制の下、運営を行っているか	4	4

豊かな個性を持った子供たちを受け入れ、一つでも多くの技能を習得させることを教育の目的としていることは学校ホームページでも公開している。また、専門教育においても、その専門の技能・知識だけでなく、その専門授業を通して仕事のあり方や社会人として求められる資質などをキャリア教育で指導している。

令和２年度よりグロースコースを設置し、より細かな配慮等ができる教育環境をつくった。また、本年度には学科コースを社会のニーズに合わせ、自動車工業科、総合商業科（トータルビューティーコース、ドッグケアコース、情報グロースコース）の４つに見直した。来年度は生徒支援部を新設し、より充実した支援ができるように組織体制を構築していく。

【学校関係者評価総評】

この項目においての評価や課題の抽出、改善方策は適切である。

多様化する社会の中で、難しいことは多くあるが、十分な調査や対話をもとに運営していくべきである。

（２） 学校運営

評　価　項　目	自己評価	関係者評価
適切な組織体制の下、運営を行っているか	4	4
教育活動に関する情報公開が適切に行われているか	4	4

各部署において仕事の割り振りを行い、学期ごとの打ち合わせ等で運営方針、事業計画に沿っているかを確認し、仕事内容を精査したうえで内規に合わせながら実情に合ったものに改善している。来年度、新たに生徒支援部を新設するにあたり、各部署の役割を明確にしていきたい。

学校ホームページにおいて学校行事などの様子、いじめ防止マニュアル、学校評価などを公開している。また、今年度学校ホームページをリニューアルするとともに、さらに情報発信の頻度や内容を充実させていきたい。

【学校関係者評価総評】

この項目においての評価や課題の抽出、改善方策は適切である。

教育内容はとても評価できるもので、その内容をさらに多くの人に情報を届け、学校運営をしていくべきである。

（３） 学習指導（教育活動）

評　価　項　目	自己評価	関係者評価
職業教育に対する外部関係者からの評価を取り入れているか	4	5
生徒の基礎学力向上と「よくわかる授業」の実践	4	5

学校評価委員会を設置し、企業、保護者、卒業生の意見を取り入れて、キャリア授業などに反映させている。

進学実績のある専門学校から講師を招き、体験授業を実施して生徒の視野を拡げた。

基礎学力向上においては成果を振り返り手法を変えて実践している。本年度においてはグループ学習を充実させ良い成果が見られた。今後も実情と成果を踏まえて基礎学力向上に取り組んでいく。

【学校関係者評価総評】

この項目においての評価や課題の抽出、改善方策は適切である。

基礎学力の向上は重要である。また、職業体験も評価できる活動であり継続すべきである。

（４） 生徒指導

評　価　項　目	自己評価	関係者評価
生徒の安全管理のための取り組みが行われているか	4	4
生徒指導に関する対応、処置は適切であるか	4	4

登下校指導を実施し、警察などとも連携をとり指導を行っている。

交通安全講習会を実施して生徒への交通マナーや法規の遵守を指導している。

防災訓練を実施し、災害時の備蓄も全校生徒分を用意している。

本年度においては、生徒指導事案に対し、一律に処分等を出すのではなく、生徒個々に対して効果的な指導を話し合い、指導に当たった。

【学校関係者評価総評】

この項目においての評価や課題の抽出、改善方策は適切である。

生徒個々に対し指導を行うことに対しては評価できることである。登下校時に先生の目の届かないところで、横に広がり歩いており危険だと感じることがあった。

（５） 進路指導

評　価　項　目	自己評価	関係者評価
進路指導にかかる支援体制は整備されているか	4	5

生徒の能力・適性に合った進路を見つけられるための指導をするにあたり、各教員の統一の見解と情報共有が必要である。情報グロースコースを開設したことにより、今まで以上に配慮が必要な生徒が増加傾向にある。そのため、従来の進路指導に加え、就労支援等への引継ぎや新たな求人の確保など、対応の強化が必要である。

【学校関係者評価総評】

この項目においての評価や課題の抽出、改善方策は適切である。

現状も十分な支援体制であると評価できるが、今後も様々な配慮が必要な生徒が増えると考えられ、常に改善が必要である。

（６） 特別活動等

評　価　項　目	自己評価	関係者評価
本校におけるクラブ等の特別活動は適切に行われているか	4	4
保護者会等と連携した活動を推進しているか	4	5

現時点で野球部、少林寺拳法部、自動車研究部、軽音楽部がある。そのほかにも同好会としてものづくりやウエイトトレーニング、園芸といった内容で活動している。活動時間や人数は様々であるが、生徒の希望に合わせて実施することができた。また、校外学習や学園祭、修学旅行なども感染対策を行いながら実施することができた。

保護者会に関しては、保護者の集いという案内のもと、学校生活や学習面、進路など様々な悩みを抱える保護者に集まってもらい、研修や保護者同士で対話などの活動を行った。保護者研修旅行に関しては、計画・働きかけの段階まではできたが、感染状況を踏まえ中止となった。

【学校関係者評価総評】

この項目においての評価や課題の抽出、改善方策は適切である。

（７） 生活相談

評　価　項　目	自己評価	関係者評価
不登校生徒への対応	4	4
学校生活が困難、もしくは不安を抱えた生徒への対応	4	5

本年度より、個々の特性や情況に合わせてスモールステップを体験させることを心掛けた指導を行うため、相談役を設置して、グロースコース担任等と情報の共有の場を設けて指導に取り組んだ。その中で、支援に対する組織体制の構築が急務であると考え、来年度より生徒支援部を立ち上げる。

昨年度に引き続き孤食や少し落ち着かせる時間をとるための休憩スペースの利用は多かった。来年教室移動に伴い場所は変わるが、休憩スペースは確保し、不安を抱えた生徒への対応に利用していく。

【学校関係者評価総評】

この項目においての評価や課題の抽出、改善方策は適切である。

生徒支援部の設置やここへの対応などは十分評価できるものとなっている。今後も状況に合わせて改善を続けていく必要がある。

（８） 教育環境

評　価　項　目	自己評価	関係者評価
施設・設備の教育体制は充実したものとなっているか	4	4
校内外の実習等、十分な教育体制を整備しているか	4	4
防災に関する体制は整備されているか	4	4

工事等は、長期休暇などを利用し、学習への影響がないように実施していく。

本年度は、昨年度実施できなかった職業体験を実施することができた。多くの企業に協力してもらうことができ、充実した内容であった。来年度も引き続き実施するとともに、校外での学習の機会を増やしていきたい。

災害時に備え、食料や水などを 600 個備蓄している。また、本年度は避難訓練を実施し、その時に賞味期限が近い非常食などの試食や防災グッズの使用体験などを行った。

【学校関係者評価総評】

この項目においての評価や課題の抽出、改善方策は適切である。

（９） 生徒の受け入れ募集

評　価　項　目	自己評価	関係者評価
生徒募集活動は適正に行われているか	4	5
生徒募集において教育成果は適切に伝えられているか	4	5
学納金は妥当なものとなっているか	5	5

生徒募集においては、生徒募集を主業務とした教員を配置することにより、適正かつ情報発信も適切に行われているといえる。ただし、ホームページが数年リニューアルされていないことや、SNS などの情報発信をしていないことは改善の余地があると考えられる。

学納金については、適正であると言える。

【学校関係者評価総評】

この項目においての評価や課題の抽出、改善方策は適切である。

学費の負担が抑えられていることは、非常に評価できることである。

（１０） 財務

評　価　項　目	自己評価	関係者評価
中長期的に学校の財政基盤は安定しているものといえるか	4	4
予算、収支計画は有効かつ妥当なものになっているか	4	4
財務について会計監査は適切に行われているか	5	5
財務情報公開の体制整備はできているか	5	5

収支バランスに問題はないが、１５歳人口の減少傾向を考えながら今後の事業展開を考える必要がある。

財務について、公認会計士による監査を実施している。

財務に関する情報をホームページにて公開している。

【学校関係者評価総評】

この項目においての評価や課題の抽出、改善方策は適切である。

（１１）　法令遵守

評　　価　　項　　目	自己評価	関係者評価
法令、専修学校設置基準を遵守して適切な運営が行われているか	4	4
個人情報に関して、その保護のための対策が取られているか	4	4
自己評価の実施と問題点の改善を行っているか	4	4

一般法令はもとより、学校運営において遵守すべき各種法令、専修学校設置基準、学則等を遵守して運営を行っている。全教員が法令順守を意識し、これに抵触する可能性を確認した場合は上長に連絡・相談することを徹底する。

個人情報の取り扱いについて、生徒・保護者に対して利用目的を明示し承諾を得ており、それにより得た情報は厳重に管理している。

自己評価は毎年実施しているが、実施以来同じ方法で実施しており、本校にあう評価方法に改善していきたい。

【学校関係者評価総評】

この項目においての評価や課題の抽出、改善方策は適切である。

（１２）　社会貢献、地域貢献

評　　価　　項　　目	自己評価	関係者評価
学校の教育資源や施設を活用した社会貢献、地域貢献を行っているか	4	4
生徒のボランティア活動を推奨、支援しているか	4	4

地域のスポーツ少年団や体育協会加盟団体の要望に応え、体育館等の利用を許可し、青少年育成活動に協力している。

ドッグケアコースの教材犬として、地域住民を含めた一般の方々から犬をお預かりして、無料でトリミングをしている。

昨年度はできなかったが、本年度は例年行っている保護者や生徒たちと共に、通学路清掃を実施した。

昨年度に引き続き、本年度も岸和田市が実施するガーデニングショウに生徒たちが育てた花を飾り付けて、東岸和田駅前に作品を展示した。

【学校関係者評価総評】

この項目においての評価や課題の抽出、改善方策は適切である。

ドッグケアコースによる無料トリミングは評価できる内容であり、受付等の内容も授業の一環として実施すれば、よりよい良いものになると考えられる。

令和４年度の評価アンケート集計　生徒・保護者対象

１そうおもう　　２ややそう思う　　３あまりそう思わない　　４そう思わない　　５わからない　［%］

	アンケート項目	1	2	3	4	5
1	学校の理念、目的について理解している。	55.7	32.9	3.8	2.5	5.1
2	学校の規則について理解している。	64.6	27.8	3.8	1.3	2.5
3	教育活動等に関する情報公開は適切に行われている。	59.5	27.8	5.1	0	7.6
4	クラブ活動、校外学習等の課外活動は充実している。	40.5	29.1	16.5	2.5	11.4
5	学校の施設、設備、防災設備は十分に整っている。	43.0	31.6	3.8	2.5	19.0
6	生徒の健康面や安全面における指導は、適切になされている。	65.8	21.5	3.8	3.8	5.1
7	学校への相談窓口は明確で、適切な対応が行われている。	73.4	20.3	1.3	0	5.1
8	本校の生徒指導に関する対応・処置は適切であり、納得している。	69.6	22.8	1.3	3.8	2.5
9	教員は保護者と適度に連絡を取り、家庭と適切な連携を取っている。	91.1	7.6	0	1.3	0
10	本校在学中の、経済的負担は低く抑えられている。	68.4	19.0	3.8	2.5	6.3
11	進学・就職に関する説明はわかりやすく、指導も充実している。	60.8	21.5	5.1	1.3	11.4
12	担任は、生徒のことを十分に理解している。	87.3	10.1	1.3	0	1.3
13	学業・各種手続きにおける、教員の説明は適切になされている。	81.0	15.2	2.5	0	1.3
14	担任は、生徒に対し適切な対応を行い、良い信頼関係を築いている。	84.8	11.4	2.5	0	1.3
15	資格取得への斡旋や資格講習会は充実している。	64.6	26.6	2.5	0	6.3
16	教育内容は、将来的に役立つものとなっている。	63.3	25.3	2.5	0	8.9
17	教育カリキュラム(時間割等)は適切である。	64.6	20.3	2.5	0	12.7
18	専門の授業における施設・設備は充実している。	64.6	22.8	5.1	0	7.6
19	専門の授業内容は充実し、わかりやすく展開されている。	60.8	22.8	3.8	0	12.7
20	授業レベル・学習量は適切である。	57.0	24.1	7.6	1.3	10.1
21	教員は、一人ひとりの学習状況を把握している。	65.8	20.3	5.1	0	8.9
22	授業における教員の説明はわかりやすく、言葉は明瞭で聞き取りやすい。	53.2	25.3	5.1	0	16.5
23	教員は、生徒の質問に対して適切に対応していた。	70.9	16.5	2.5	0	10.1
24	総合的に、授業は満足できるものである。	62.0	22.8	3.8	0	11.4
25	本校に入学させて「よかった」と思う。	79.7	15.2	0	0	5.1